

災害時の避難所使用で学校や福祉施設などと市が協定結ぶ

3月25日、災害時における避難所等としての使用に関する協定が市と12の法人・団体間で結ばれ、市役所で調印式を行いました。

これは、平成25年6月に改正された国の災害対策基本法が、切迫した災害から逃れるための「指定緊急避難場所」と一定期間滞在し、避難者の生活環境を確保するための「指定

避難所」とに明確に区分されたため、市が避難所の見直し作業を行っていたものによるものです。

市は、高齢者や障がい者を受け入れる福祉避難所6か所、指定避難所として、北日本自動車大学校、星槎高校など、学校法人や町内会館を管理する民間の指定管理者と協定を結びました。



16年連続芦別合宿・交流の成果 JTサンダーズが初のリーグ優勝



市内で毎年合宿を行っている男子バレーボールチームのJTサンダーズが2014/15V・プレミアリーグで初優勝しました=写真(提供・JTサンダーズ)。

同チームは、1999(平成11)年以來、16年連続本市で合宿を行い、サポーターズクラブなど市民との交流が続いています。

4月5日、東京都内で行われた決勝には、サポーターズクラブメンバーなど18人が駆け付け応援。優勝の瞬間に立ち会ったほか、祝勝会にも参加。チームの関係者からは、「芦別合宿では、多くの市民の皆さんから温かいご支援をいただき、優勝の原動力の一つにもなりました」との感謝の言葉が贈られました。

北日本自動車大学校と星槎大学で入学式が行われる

専門学校北日本自動車大学校の入学式が4月7日、同校で行われました=写真=。

今年は、自動車整備科、ボデーリペア科18人と北海道からの委託を受けて行う機動職業訓練生として社会人2人の合わせて20人が入学。

齋木修二校長が「人間性も磨かれ

た一流の技術人を目指して充実した学校生活を送ってほしい」と激励。新入生を代表して斎藤絵霧さんが「所期の目標を達成できるよう精進します」と宣誓しました。

また、4月18日には、星槎大学・大学院の入学式が行われ、芦別キャンパスでは6人が出席しました。



フットサルのエスポラーダ北海道が芦別合宿で練習を公開



フットサルリーグ(Fリーグ)・エスポラーダ北海道の芦別合宿が4月18日と19日の2日間、総合体育館で行われ、練習が公開されました。

エスポラーダ北海道は2008年に設立され、Fリーグに参加して今年7年目を迎えます。本市では、2013年5月にプレシー

ズンマッチを行っているほか、芦別での合宿も毎年恒例となっています。

今回の合宿は、5月3日に開幕するFリーグに合わせての調整で、選手、スタッフら約30人が参加し、実戦形式の密度の濃い練習に目を見張る市民の姿も見られました。